

# 2025年度 学会認定申請に関する自己チェックリスト

## 日本睡眠学会総合専門医

- 2018年またはそれ以前に医師免許取得（医師免許取得後6年間以上）
- 睡眠医療2年間以上の臨床経験
- 2023年3月31日までに学会に入会（会員歴3年以上）
- 学術集会<sup>※1</sup>への3回以上の参加
- 睡眠医療の幅広い知識、診断能力、睡眠ポリグラフ検査の実施経験<sup>※2</sup>と判読能力
- 異なる種類の睡眠障害5症例の症例報告

## 日本睡眠学会歯科専門医

- 2018年またはそれ以前に歯科医師免許取得（歯科医師免許取得後6年間以上）
- 睡眠関連医療<sup>※3</sup>2年間以上の臨床経験
- 2023年3月31日までに学会に入会（会員歴3年以上）
- 学術集会<sup>※1</sup>への3回以上の参加
- 睡眠医療の幅広い知識、診断能力、睡眠ポリグラフ検査の実施経験<sup>※2</sup>と判読能力
- 異なる種類の睡眠障害5症例の症例報告

## 日本睡眠学会専門検査技師

- 2023年またはそれ以前に臨床検査技師等免許取得
- 睡眠ポリグラフ検査等1年間以上の臨床経験<sup>※2</sup>
- 2025年3月31日までに学会入会者（会員歴1年以上）
- 学術集会<sup>※5</sup>への1回以上、睡眠医療・技術セミナー1～2回の参加
- 睡眠ポリグラフ検査<sup>※4</sup>を実施および判読する知識と技能
- 異なる種類の睡眠障害5症例の症例報告

## 日本睡眠学会専門心理師

- 公認心理師の免許取得
- 3年間以上の臨床経験
- 2023年3月31日までに学会に入会（会員歴3年以上）
- 学術集会<sup>※1</sup>への3回以上の参加
- 日本睡眠学会主催のCBT-Iワークショップ（ベーシックコースおよびアドバンスコース）の修了
- 睡眠医療の幅広い知識、心理的支援を行う上での基本的な対人援助能力
- 睡眠障害に対する認知行動的支援を実施した3症例の症例報告

※1 日本睡眠学会および関連国際的睡眠学会定期学術集会。日本睡眠学会睡眠医療・技術セミナーの参加も含む

※2 監視下（アテンド）睡眠ポリグラフ検査の経験（研修でも可）

※3 睡眠時無呼吸症候群、歯ぎしりおよび関連する睡眠障害の診療

※4 反復睡眠潜時検査（MSLT）を含む

※5 日本睡眠学会および関連国際的睡眠学会定期学術集会

## 注意事項

1. 日本睡眠学会総合専門医、日本睡眠学会歯科専門医、日本睡眠学会専門検査技師、日本睡眠学会専門心理師のいずれの認定試験においても、求められる医学的知識ならびに医療技術水準の詳細については、学会ホームページの細則をご確認ください。
2. 症例報告書の作成は、細則に準じてご作成ください。学会ホームページに模範例（見本）を掲示していますが、そのまま引用した場合は不合格となります。
3. 経歴、学会員歴は、2025年3月31日現在を基準とします。